

第1章 計画策定の経緯と目的

1. 計画策定の経緯

山居倉庫は、明治時代から昭和戦前期まで株式会社酒田米穀取引所の附属倉庫として庄内米を保管・取引した大規模施設であり、米が自由取引されていた米券倉庫時代から食糧管理制度下の時代を経て、米穀保管倉庫として使用された。

明治26年(1893)創建時の倉庫6棟を含む12棟の倉庫が大正5年(1916)までに建築された。その他にも、事務所棟、東宮殿下行啓記念研究室、板倉、三居稲荷神社、倉庫西側のケヤキ並木等の建築物や景観が、創業当時以来良好に残っており、我が国近現代の米穀流通の歴史及び庄内地域の米作の歴史を知る上で貴重であることから令和3年(2021)3月26日に国の史跡に指定された。

指定時の山居倉庫の所有者は、酒田市の他、河川管理者山形県知事、全国農業協同組合連合会、庄内倉庫株式会社、庄内みどり農業協同組合、宗教法人三居稲荷神社であった。令和4年度をもって山居倉庫の米穀保管倉庫としての役目を終えることが決まり、酒田市としては令和5年度以降に史跡の公有化と整備活用を図ることとした。

これに伴い、令和5年(2023)3月には、「史跡山居倉庫保存活用計画」(以下「保存活用計画」という。)を策定し、山居倉庫の本質的な価値と構成要素を明確化するとともに、それらを適切に保存・活用していくための基本方針や現状変更等の取扱基準、運営・体制のあり方等を定めた。

2. 計画の目的

本計画は、史跡山居倉庫について、来訪者への史跡の本質的な価値を正しく伝え、史跡の保全と次世代への継承を図り、史跡の特色を生かした整備を進めるための基本方針と基本計画を示すものである。

保存活用計画で定めた方針の実現に向けて、整合性を図りながら、整備の具体的な方法や事業計画等を定め、史跡の保存・活用・整備の円滑な推進を図ることを目的とする。

3. 計画の構成・構造

本計画の計画区域を図1-1、計画の構成・構造、各章の内容を表1-1に示す。

計画区域については、史跡指定地とその周辺地域の環境保全に必要と考えられる範囲を含むものとする。

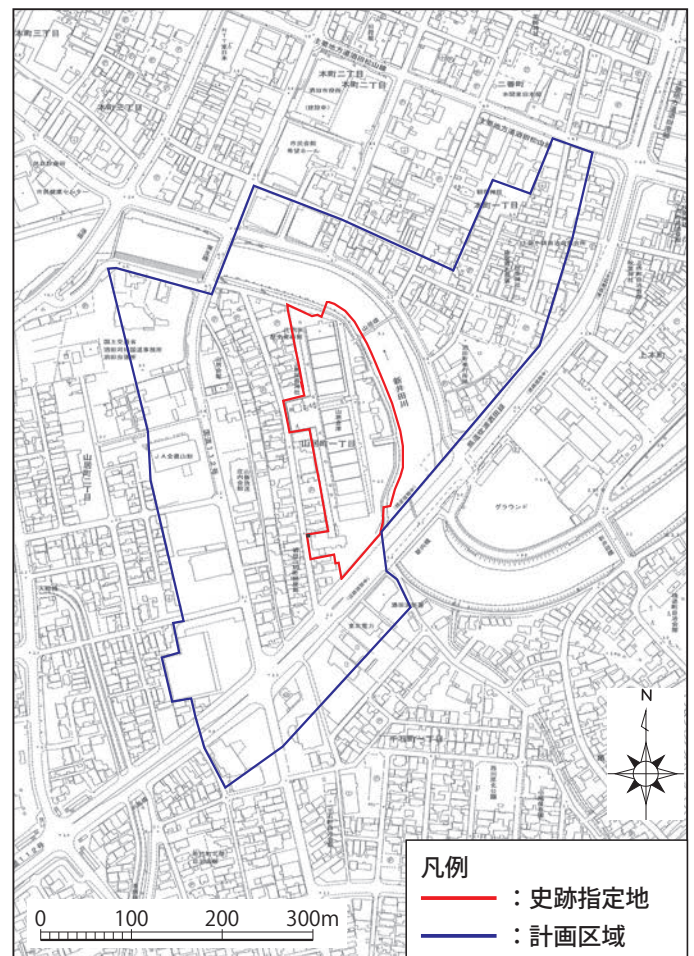


図 1-1 計画区域

表 1-1 計画の構成・構造

計画策定について				
第1章	計画策定の経緯と目的	計画策定の経緯、計画の目的、計画の構成・構造、計画策定の体制と経過、関連計画との関係、計画の実施時期等について述べる。		
計画地の現状について				
第2章	計画地の現状	史跡指定地の位置や、計画地（史跡指定地及びその周辺環境）が置かれた自然環境、関連文化財等、社会的環境等を把握する。		
第3章	史跡の概要及び現状と課題	指定理由、史跡の現況、地域の文化的資源との関連性などを明確にするとともに、公開活用のための諸条件を把握し、課題を明確にする。		
基本方針				
第4章	基本方針	史跡の本質的価値の保存活用、地域の文化的資源との関連性、まちづくりにおける位置づけなどを勘案した、本計画の基本理念と基本方針を定める。		
整備基本計画の内容				
第5章	整備基本計画	1	全体計画及び地区区分計画	全体計画とゾーニングを整合させ、各地区の特性に応じた整備の方針を示す。
		2	遺構保存と歴史的建造物・石垣等修復に関する計画	地上に表出している遺構と、地下に埋蔵されている遺構、それぞれの保存手法を示す。毀損している歴史的建造物・石垣・庭園等の復旧方法を示す。
		3	動線計画	エントランス、サブエントランス、見学者・管理用動線等を示す。
		4	雨水排水に関する計画	雨水排水機能の確保に関する整備方法を示す。
		5	遺構の表現に関する計画	遺構の規模や性格、空間利用のあり方、往事の環境等を適切に伝える表現方法を示す。
		6	ケヤキ並木の保存整備に関する計画	ケヤキ並木の樹勢回復の計画を示す。
		7	修景及び植栽に関する計画	計画区域内における遺構に悪影響を与えない植栽計画を示す。
		8	案内・解説施設に関する計画	史跡に関する情報、各種遺構に関する情報提供施設に関する整備内容を示す。
		9	管理施設及び便益施設に関する計画	管理施設及び便益施設の位置等について示す。
		10	公開・活用及びそのための施設に関する計画	屋内展示・体験学習等を通じて史跡の理解促進を促す施設について、整備内容を示す。
		11	周辺地域の環境保全に関する計画	史跡等の周辺地の景観に関して具体的な制御手法を示す。
		12	地域全体における関連文化財等との有機的な整備活用に関する計画	関連文化財等との関係を把握し、包括的な整備活用方法を示す。
		13	整備事業に必要となる調査等に関する計画	今後必要となる発掘調査計画等を示す。
		14	公開・活用に関する計画	史跡全体の公開・活用の取組を示す。
		15	管理・運営に関する計画	管理の内容や手法等を示す。
		16	事業計画	事業の内容・期間・工程等を示す。
完成予想				
第6章	完成予想図	整備が完了した際の予想図を示す。		

4. 計画策定の体制と経過

整備基本計画策定にあたっては、考古、史跡、建築、歴史などの文化財専門家と、酒田市に関連したデザイン、地域活性化、飲食・宿泊、小売店舗・商品開発・製造・販売、観光などの活用事業に精通している有識者で構成される「山居倉庫整備基本計画策定委員会」（以下「策定委員会」という。）を設置し、計画策定・史跡整備に関する内容の協議・検討と必要な指導・助言を受けた。

策定委員会には文化財担当として文化庁文化資源活用課、山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課から専門職員をオブザーバーとして派遣していただいた。また、史跡指定地管理者として山形県庄内総合支庁建設部河川砂防課、庄内みどり農業協同組合、史跡指定地域住民代表として港南コミュニティ振興会からも会長を派遣していただいた。

策定委員会の事務局は、令和5年度までは酒田市企画部都市デザイン課で、令和6年度からは企画部文化政策課が担当し、開催した会議等の内容を整理した。なお、策定委員会前までに市関係各課による庁内会議を行い、情報共有を図るとともに策定委員会に示す計画の内容について検討・協議を行った。

また、計画策定にあたり、市民の山居倉庫に対する理解を深めるとともに、保存・活用に関する多様な意見やアイデアを計画に反映するため、パブリックコメントを実施した。

表 1-2 山居倉庫整備基本計画 策定の経過

期日		項目	協議内容
令和5年	7月20日	第1回 山居倉庫整備基本計画策定委員会	策定スケジュールについて 整備基本計画の構成 整備基本計画について 1. 計画策定の経緯・目的 2. 計画地の現状 3. 史跡の概要及び現状と課題
	11月16日	第2回 山居倉庫整備基本計画策定委員会	山居倉庫整備基本計画策定期間の変更について 山居倉庫整備基本構想（案）について 山居倉庫整備基本計画における基本理念と基本方針について ケヤキ樹勢回復に係る施工について 火災報知器の設置工事について
令和6年	2月20日	第3回 山居倉庫整備基本計画策定委員会	山居倉庫整備基本構想について 山居倉庫整備基本計画における基本理念と基本方針について ケヤキ樹勢回復に係る施工について 火災報知器の設置工事について 耐震診断の実施概要について
	11月7日	第4回 山居倉庫整備基本計画策定委員会	基本方針について 酒田市山居倉庫整備基本計画策定委員会分科会の設置について 令和6年度事業の状況について 令和7年度山居倉庫整備事業について 全体計画及び地区区分計画について 動線計画について
令和7年	1月30日	第1回 山居倉庫整備基本計画策定委員会 保存分科会（リモート会議）	酒田市史跡山居倉庫整備基本計画について 令和7年度山居倉庫整備事業について 全体計画及び地区区分計画について 動線計画について
	1月31日	第1回 山居倉庫整備基本計画策定委員会 活用分科会（リモート会議）	酒田市史跡山居倉庫整備基本計画について 全体計画及び地区区分計画について 動線計画について
	3月14日	第5回 山居倉庫整備基本計画策定委員会	仮ガイダンスの設置について 酒田市山居倉庫整備基本計画策定委員会保存分科会について 酒田市山居倉庫整備基本計画策定委員会活用分科会について 基本方針について

		整備基本計画の項目について 全体計画及び地区区分計画について 動線計画について 次回の保存分科会・活用分科会について
5月29日	第2回 山居倉庫 整備基本計画策定委員会 活用分科会（リモート会議）	全体計画及び地区区分計画について 動線計画について 案内・解説施設に関する計画について 管理施設及び便益施設に関する計画について 公開・活用及びそのための施設に関する計画について
5月30日	第2回 山居倉庫 整備基本計画策定委員会 保存分科会（リモート会議）	全体計画及び地区区分計画について 動線計画について 遺構保存に関する計画について 歴史的建造物・石垣・庭園等修復に関する計画について 遺構の表現に関する計画について
8月5日	第6回 山居倉庫 整備基本計画策定委員会	全体計画及び地区区分計画について 遺構保存に関する計画について 歴史的建造物・石垣・庭園等修復に関する計画について 動線計画について 地形造成に関する計画について 遺構の表現に関する計画について 案内・解説施設に関する計画について 管理施設及び便益施設に関する計画について 公開・活用及びそのための施設に関する計画について
11月14日	第7回 山居倉庫 整備基本計画策定委員会	全体計画及び地区区分計画 遺構保存と歴史的建造物・石垣・庭園等修復に関する計画 動線計画 地形造成に関する計画 遺構の表現に関する計画 ケヤキ並木の保存整備に関する計画 修景及び植栽に関する計画 案内・解説施設に関する計画 管理施設及び便益施設に関する計画 公開・活用及びそのための施設に関する計画 周辺地域の環境保全に関する計画 地域全体における関連文化財等との有機的な整備活用に関する計画 整備事業に必要な調査等に関する計画 公開・活用に関する計画 管理・運営に関する計画 事業計画
令和8年	1月9日～1月28日	パブリックコメント
	2月18日	第8回 山居倉庫 整備基本計画策定委員会
	3月31日	山居倉庫整備基本計画策定

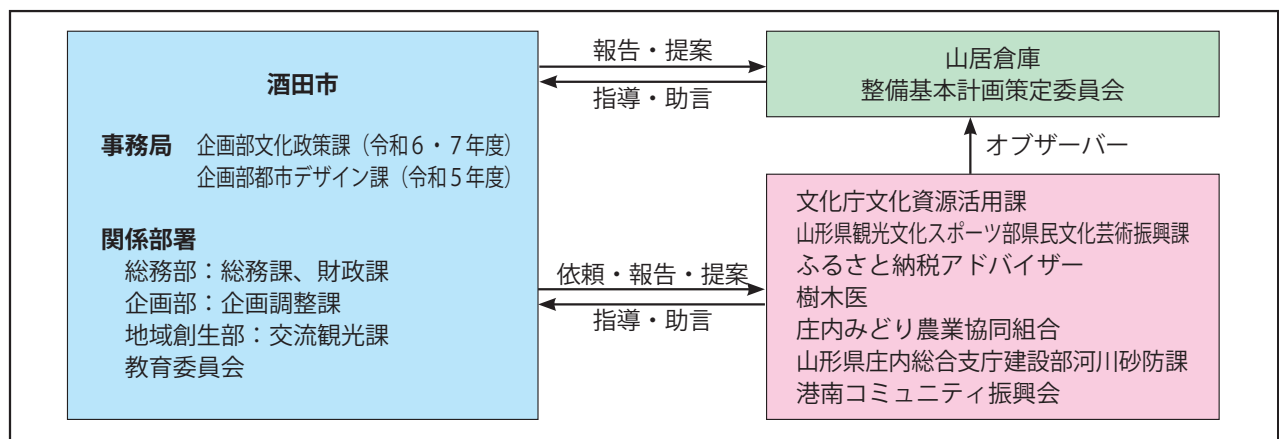


図 1-2 整備基本計画策定の体制図

表 1-3 山居倉庫整備基本計画策定委員会 名簿

	氏名	職名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
委員長	本中 眞	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所所長	○	○	○	
副委員長	清野 誠	酒田市文化財保護審議会委員	○	○	○	
委員	北野 博司	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター長	○	○	○	
	平山 育男	長岡造形大学学長	○	○	○	
	崎谷 浩一郎	株式会社 EAU 代表取締役	○	○	○	
	佐藤 俊博	株式会社テーブルビート代表取締役	○	○	○	
	宮本 武典	東京藝術大学美術学部准教授	○	○		
	古川 美紀	酒田市景観審議会委員	○	○	○	
	岩間 奏子	酒田商工会議所女性会会長	○	○	○	
	相原 久生	酒田市立資料館調査員	○			
	佐治 ゆかり	秋田公立美術大学美術学部教授		○	○	
	小松原 レラニ	翻訳家		○	○	
	池田 サユリ	花柳界伝承舎「酒田小鈴」代表		○	○	
	池田 里枝	酒田市教育委員会教育次長	○			
	中村 慶輔	酒田市企画部長	○			
オブザーバー	小野 友記子	文化庁文化資源活用課文化財調査官	○	○	○	
	鈴木 弥咲	山形県観光文化スポーツ部博物館・文化財活用課	○			
	工藤 真由美	山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課		○	○	
	荒木 真司	株式会社ニューソン代表取締役	○	○	○	
	渡部 佐界	樹木医	○	○	○	
	若木 吉尚	庄内みどり農業協同組合総合企画部長	○	○	○	
	本橋 倫之	山形県庄内総合支庁建設部河川砂防課長	○			
	鷹濱 潤			○	○	
	小野 英男	港南コミュニティ振興会会長	○	○	○	
	金野 洋和	酒田市企画部文化政策調整監	○			
	川島 崇史	酒田市企画部文化政策課文化財主幹	○			
事務局	佐藤 裕明	酒田市企画部	都市デザイン課長	○		
	土井 勝		都市デザイン課長補佐	○		
	真島 孝幸		都市デザイン課主査兼係長	○		
	本間 福美		都市デザイン課調整主任	○		
	金野 洋和		文化政策調整監兼文化政策課長		○	
	川島 崇史		文化政策課文化財主幹		○	○
	池田 里枝		文化政策課副主幹		○	
	土田 和幸		文化政策課文化財係長		○	
	大井 庄栄		文化政策課長			○
	池田 邦臣		文化政策課長補佐兼文化財係長			○

5. 関連計画との関係

本計画は、当市の文化財保護・文化振興・観光計画・景観計画・都市計画・地域創生・河川整備等に関する施策について記載した上位・関連計画の理念や基本方針にもとづき、山居倉庫の保存活用計画との整合性を図りながら、史跡整備の具体的な方法や事業計画等を定めるものである。

「酒田市総合計画」には

- ・(第1章)本市の歴史や文化を理解する上で重要な文化財の保存と活用
- ・(第3章)歴史、伝統、食・食文化、自然環境の活用による交流拡大
- ・(第5章)歴史的・文化的景観の保全・形成
- ・(第6章)山居倉庫が所在する中心市街地の魅力と賑わいを創出するまちづくり

等に関する指針が記載される。

同計画(第6章 都市機能が強化され、賑わう酒田)においては、「旧酒田商業高校跡地等山居倉庫周辺整備の実施」が具体的な施策としてあげられており、「酒田商業高校跡地活用基本構想」では、山居倉庫の史跡指定後の取組み(保存活用計画策定、市の取得と活用)と山居倉庫周辺エリアの活用整備に向けた基本理念・方針が定められている。

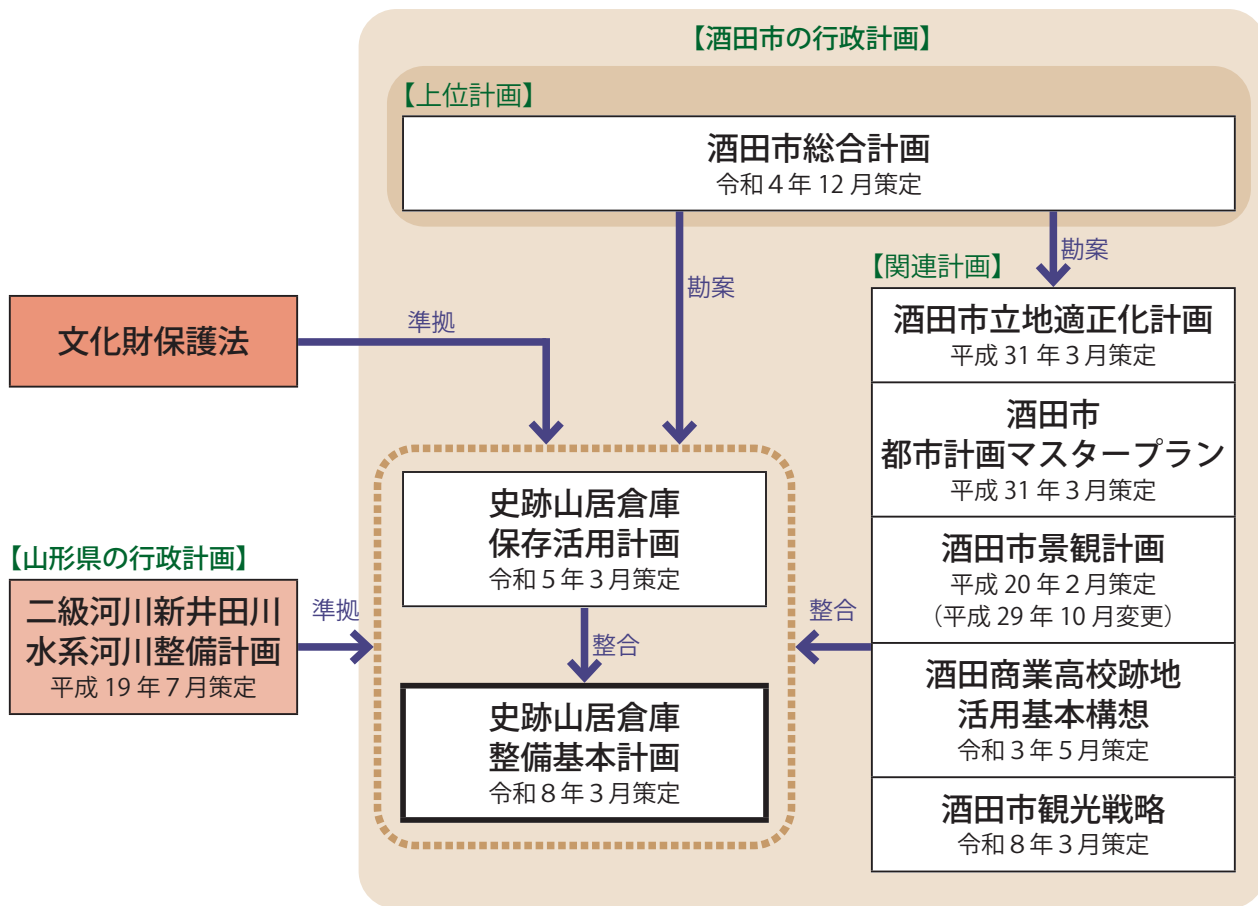


図 1-3 山居倉庫整備基本計画の位置づけ

このほか、「酒田市都市計画マスタープラン」では「酒田港本港・山居倉庫周辺地区」が観光・交流拠点として、「酒田市景観計画」では「山居倉庫周辺地区」が景観形成重点地域として位置づけられ、山居倉庫の保存・活用と周辺エリアの整備は市政にとって重要な位置づけにある。また、「酒田市観光戦略」では、今後も、酒田を代表する観光資源として、ブランド力と市内回遊のハブ機能が維持されることが必要であることから、山居倉庫のハブ機能を強化し、山居倉庫から距離がある土門拳写真美術館をはじめとする飯森山エリア、鳥海山荘をはじめとする鳥海山麓エリア、美しいロケーションを誇る眺海の森エリア、旧阿部家をはじめとする里山エリアの回遊を促す施策を実施し、酒田観光の顔としての位置づけの確立を目指すとしている。

以下に関連計画の抜粋をあげる。

酒田市総合計画【令和4年12月策定】

第1章 未来を担う人材が豊富な酒田

政策4 学びあい、地域とつながる人を育むまち②

施策3 郷土愛にあふれた人材の育成

○今後の方向性と主な施策

本市の貴重な財産である文化財や歴史的資料の確実な継承と活用を図ります。

- ・国指定史跡山居倉庫の整備計画の策定

第3章 ファンが多く移住者・定住者・観光客が増加する酒田

政策2 「おもてなし」があふれ、交流でうろうまち

施策1 観光地域づくりの推進

○今後の方向性と主な施策

ウィズコロナおよび新しい生活様式に対応した受入環境を整備し、観光誘客につなげ、観光関連産業の活性化を図ります。

第5章 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田

政策2 「全員参加」でつくる美しいまち

施策3 美しいまちづくりの推進

○今後の方向性と主な施策

防災、安全で円滑な交通確保、景観形成の観点から、無電柱化に取り組みます。

第6章 都市機能が強化され、賑わう酒田

政策1 高速交通ネットワークを実現し、ひと・もの・情報が集い、魅力と賑わいを創出するまち

施策2 コンパクト+ネットワークによるまちづくり

○今後の方向性と主な施策

中心市街地の人口密度・生活利便施設の維持を図り、中心市街地の魅力と賑わい創出につなげます。

史跡山居倉庫保存活用計画【令和5年3月策定】

第5章 大綱・基本方針

1. 大綱

- 山居倉庫に関する調査研究を継続的に実施し、山居倉庫の価値を一層明らかにするとともに、価値の保存や活用の基本とする。
- 史跡山居倉庫の本質的価値を構成する諸要素の保存・活用を図り、後世へ確実に引き継いでいく。
- 史跡の防災や、災害時の来訪者の安全のために必要な施策に取り組む。
- 山居倉庫の歴史的・自然的環境の維持・保全に努め、山居倉庫からの眺望や市街地から眺望に配慮した景観形成を図る。
- 調査成果に基づく活用を図ることにより、市民や子どもたちが酒田の歴史に親しみ学び、観光客がより一層楽しめる機会を創出する。
- 山居倉庫の保存と活用を推進し、山居倉庫の価値と魅力を伝えることにより、地域の文化財としての意識を高め、山居倉庫の価値を市民や関係諸団体など多様な関係者と連携し、酒田市のまちづくりや交流人口の拡大に寄与する。
- 史跡の保存と活用を推進するために必要な組織、体制を継続するとともに、事業遂行にあたっては市民や関係諸団体との連携を図る。

2. 基本方針

(1) 保存

- ① 史跡山居倉庫の本質的価値を構成する諸要素である各建造物・工作物などを保存するとともに、樹木などの自然環境を保全し後世に継承する。
- ② 日常の維持管理を継続し、史跡を適切な状態に保つとともに、定期的にモニタリングを行い、史跡の状況把握に努める。
- ③ 保存のための調査研究を継続して行う。
- ④ 災害に対する各建造物等の防災対策を進める。
- ⑤ 現状変更に関する方針を定め、適切に運用する。

(2) 周辺環境

- ① 史跡指定地に含まれていない新井田川護岸や隣接地などについては、史跡指定地と一体的に景観保存に努める。

(3) 活用

- ① 山居倉庫保存のための調査研究を計画的に継続して行うとともに、山居倉庫の魅力や調査の成果の積極的な公開・情報発信に努める。
- ② 山居倉庫の価値を多様な来訪者や市民に対し、わかりやすく伝えるための環境を整える。
- ③ 酒田の歴史について市民や子どもたちが学ぶ機会を創出する。
- ④ 災害時の来訪者の安全対策に努める。
- ⑤ 山居倉庫を観光資源として活かし、地域社会・地域経済を活性化させるまちづくりへつなげる施策について検討する。
- ⑥ 山居倉庫とその周辺の整備予定地との連携を図り、多様な交流や賑わいを生み出すような活用を進める。
- ⑦ 市内にある他の文化財と一体となった活用を図る。

(4) 整備

- ① 保存と活用のために、山居倉庫整備基本計画を策定する。
- ② 整備事業の計画立案にあたっては、調査成果を十分に検討し、史跡の価値の正しい理解につなげる。

(5) 運営・体制の整備

- ① 計画の実施にあたっては、その進捗状況を定期的に検証し、必要に応じて課題の解決を図る。
- ② 保存活用計画の推進にあたっては、関係する市の部局間における連絡調整を緊密に行う。
- ③ 文化庁、山形県等関係機関との連絡調整を適切に行うとともに、山居倉庫に関わる諸団体との連絡調整を緊密に行う。
- ④ 保存活用計画の推進にあたり、市民協働に努める。

酒田市立地適正化計画【平成31年3月策定】

3. まちづくりの方針等

- ① 多様なライフスタイルを受け入れる居住環境が整ったまち（居住の視点）

中心市街地（中心拠点）【市街地ゾーン】

歩いても暮らせ、歴史・湊まち文化を感じられる居住環境の形成

- ・ 中心市街地の住宅地（中心住宅市街地）は、各拠点とのアクセスのしやすさに加え、防災上安全なエリアが多く、都市基盤や公共交通が充実していること、歴史・文化・観光資源が多く存在しているといった特徴・強みを備えています。それらを最大限活かして、若者から高齢者まで幅広い世代に選択してもらえる居住環境の形成を進めます。

酒田市都市計画マスタープラン【平成31年3月策定】

8. 都市づくりの方針 8-1 土地利用の方針 1) 中心市街地（中心拠点）

【拠点】酒田港本港・山居倉庫周辺地区（観光・交流拠点）

酒田港本港地区は、海鮮市場やみなと市場、海洋センター、定期船「とびしま」の発着所が立地する観光・交流拠点であり、「みなとオアシス酒田」に認定されています。

山居倉庫周辺地区は、歴史・観光資源や観光物産館、歴史資料館が集積する観光拠点であるとともに、ケヤキ並木や新井田川と一体となった酒田らしい景観を形成しています。

これら酒田港本港地区と山居倉庫周辺地区の隣接した観光・交流拠点の機能を有効に活用して、連携を強化するとともに、にぎわい・親水機能を生み出す土地利用を進めます。

また、商業高校跡地周辺は、山居倉庫に隣接し、空路・幹線道路からの市街地への玄関口ともいうべき位置にあることから、周辺一帯の魅力向上、観光交流機能向上に資する土地利用を進めます。

8. 都市づくりの方針 8-3 景観の方針 (2) 景観の方針 ②歴史的、文化的景観

- 酒田を象徴する歴史的、文化的景観資源を活かした景観づくりを進めます

本市には、港町としての長い歴史を背景とし、酒田らしさが醸成され町人文化を感じさせる地区、農村部の郷愁を感じさせる地区などがあります。それぞれの地区における歴史的な建造物や文化などは、市民の貴重な財産であり、その保存を図ると共に、周辺地区を含めて、歴史的、文化的景観を大切にしたい景観づくりを進めます。

酒田市景観計画【平成20年2月策定、平成29年10月変更】

5. 良好な景観の形成に関する方針 (3) 景観形成の基本方針

②酒田の象徴的な歴史的、文化的景観を活かした景観づくりを進めます

酒田には、港町としての長い歴史を背景とし、酒田らしさが醸成され町人文化を感じさせる地区、城下町としてのたたずまいを遺している地区、農村部の郷愁を感じさせる景観を遺す地区などがあります。それぞれの地区における歴史的な建造物や文化などは、市民の貴重な財産であり、その保全を図ると共に、周辺地区も含めて、歴史的、文化的景観を大切に景観づくりを進めます。

11. 景観形成重点地域

本市の景観を特徴付ける特に重要な地域を「景観形成重点地域」に指定し、地域の特徴を生かした良好な景観の保全や魅力ある景観づくりを進めます。

- 山居倉庫周辺地区（平成20年4月指定）

酒田商業高校跡地活用基本構想【令和3年5月策定】

1. 本市の中心市街地の課題と方針

1-5. 山居倉庫の史跡指定について

(3) 史跡指定後の取組み

① 保存活用計画策定

- ・ 史跡の本質的な価値と構成要素を明確化するとともに、それらを適切に保存活用していくための基本方針、方法、現状変更等の取扱基準の策定等を目的として保存活用計画を策定する。

② 山居倉庫の取扱と活用

- ・ 山居倉庫を紡いできた歴史を後世に伝えていくため、倉庫機能が廃止される令和4年度末以降に、市が取得した上で、観光客や市民にとって、より魅力的な場所となるような活用策を検討していく。

2. 商業跡地の概要と方針

2-5. 商業跡地の基本理念・方針

(1) 基本理念

「おうこらいこん往古来今」・・・過去から未来まで、綿々として続く時間の流れ

山居倉庫が中心となって紡いできた酒田の歴史を、生活の一部として触れ、感じることができ、未来へつないでいくためのまちづくり。幅広い世代が生涯活躍できるまちの実現を目指し、山居倉庫周辺エリアの価値を高める。

(2) 基本方針

- ① 来街者にとっては、山居倉庫と連携した「にぎわいの拠点」、市民にとっては、生活利便性が向上する「日常生活の拠点」となり、山居倉庫周辺エリアに交流と日常的なにぎわいが生まれる環境を目指す。
- ② 庄内空港、幹線道路から中心市街地への玄関口としての立地を生かし、中心市街地への求心力、街なかへの誘導機能（回遊性）の強化を図る。

酒田市観光戦略【令和8年3月策定】

Ⅳ ありたい姿を実現するための取り組み

1 ありたい姿を実現するための取り組み

前章で確認した課題を解決し、観光で稼げるまちを目指しⅡ章で定めたありたい姿を実現するために、以下のとおり各種施策に取り組みます。基本方針で定めた三本の柱ごとに取り組む施策と、観光で稼げる基盤を支えるため当然に取り組むべき施策に分けて整理します。

【歴史文化】

(1) 山居倉庫をはじめとする観光資源の集客機能を強化するとともに、北前船日本遺産を中心とした本市の歴史文化を生かした訪日外国人旅行者及び国内誘客の強化と受け入れ機能の充実を図ります。

- ①山居倉庫の魅力向上：山居倉庫は、令和3年に国指定史跡となり、保全のための耐震化工事等に相当の年数が見込まれます。今後も山居倉庫が酒田を代表する観光資源として、ブランド力と市内回遊のハブ機能が維持されることが必要です。耐震化後の下屋（倉庫をつなぐ屋根付きのスペース）を活用した展示の整備、倉庫内部の見学機能の整備、敷地内回遊の仕組みづくり、山居倉庫から市内観光施設への回遊を促す施策などを実施し、酒田観光の顔としての位置付けの確立を目指します。山居倉庫のハブ機能を強化することで、山居倉庫から距離がある土門拳写真美術館をはじめとする飯森山エリア、鳥海山荘をはじめとする鳥海山麓エリア、美しいロケーションを誇る眺海の森エリア、旧阿部家をはじめとする里山エリアの回遊を促します。
- ②酒田舞娘の支援：歴史に裏打ちされた本格的な舞娘でありながら、気軽に会える酒田舞娘は、本市の観光まちづくりに欠かせない存在です。より活躍の場を広げるために隣県や首都圏へのプロモーションを実施するほか、酒田舞娘を目指す子どもたちを増やすために、舞娘としての活動内容・仕事のやりがいを伝える機会を広く提供します。
- ③山王くらの魅力向上：江戸時代から平成時代まで続いた料亭でありながら、明治時代に再建された建築様式が大正ロマンの雰囲気を感じさせます。その魅力を活かした訪日外国人旅行者の誘客に注力するとともに、館内の老朽化対策や冷暖房設備の整備、バリアフリー化など、日本三大つるし飾り「傘福」の展示や製作体験、「おしん」ギャラリーをより多くの国内外のお客様に楽しんでいただくための対策を進めます。
- ④物産（伝統工芸品）の振興：本市には船筆筒や組み木細工、酒田光丘彫や磯草塗など、多くの伝統工芸が残されていますが、後継者不足が深刻な課題となっています。イベントや展示会など、酒田が誇る素晴らしい伝統工芸を広く周知し、実際に触れる機会を作り出すとともに、製作体験のコンテンツ造成を支援します。また、市内での常設展示や販売を支援し、職人の収入が確保できる仕組みづくりを行うことで、後継者の確保を支援します。

二級河川新井田川水系河川整備計画【平成19年7月策定】山形県

第1章 河川整備計画の目標に関する事項

1.3 河川整備計画の目標 1.3.6 河川環境の整備と保全に関する事項

河川環境の整備と保全に関しては、新井田川水系の河川環境の整備と保全についての指針を示し、適正な管理に資するため、「新井田川水系河川環境管理基本計画（平成8年3月策定）」（以下：環境管理計画）に基づき実施してきました。今後も環境管理計画に基づき新井田川水系が有している良好な動植物の生息・生育環境を保全しつつ、水辺とのふれあいの空間としての機能拡大や、河川と周辺地域との一体的な活用を図る整備と保全を行っていきます。さらに地域住民・沿川住民の要望などを踏まえ、新井田川水系の河川及びその沿川の美しい自然環境・景観、歴史・文化的施設や公園・緑地等のネットワーク化を図る整備を行うとともに、次の事項に配慮します。

（3）景観

古くから港町として栄えてきた酒田市の歴史的・文化的景観、周辺地域の自然環境、田園、街並みと一体となって形成される河川景観について可能な限りその維持・形成に努める。

（4）河川利用

新井田川水系の河川利用に関する多様なニーズに配慮して、山居倉庫を拠点とした周辺環境や釣り等のレクリエーション、カヌー等のスポーツ、交流拠点となる場の創出を図り、心身の健康の増進に寄与する。

6. 計画の実施

① 策定年月日

令和8年（2026）3月31日

② 実施・発効年月日

令和8年（2026）4月1日

③ 計画期間と見直し

本計画は令和8年（2026）4月1日から令和18年（2036）3月31日までを計画期間とする。

策定後10年程度経過した時点で、見直しの必要性について検討を行う。また、定期的な自己点検の結果や周辺環境の変化等により事業内容の改善の必要がある場合にも、見直しを検討する。

④ 計画の周知

本計画の実施にあたり、酒田市は、市民・関係機関等へ計画趣旨を周知するよう努める。

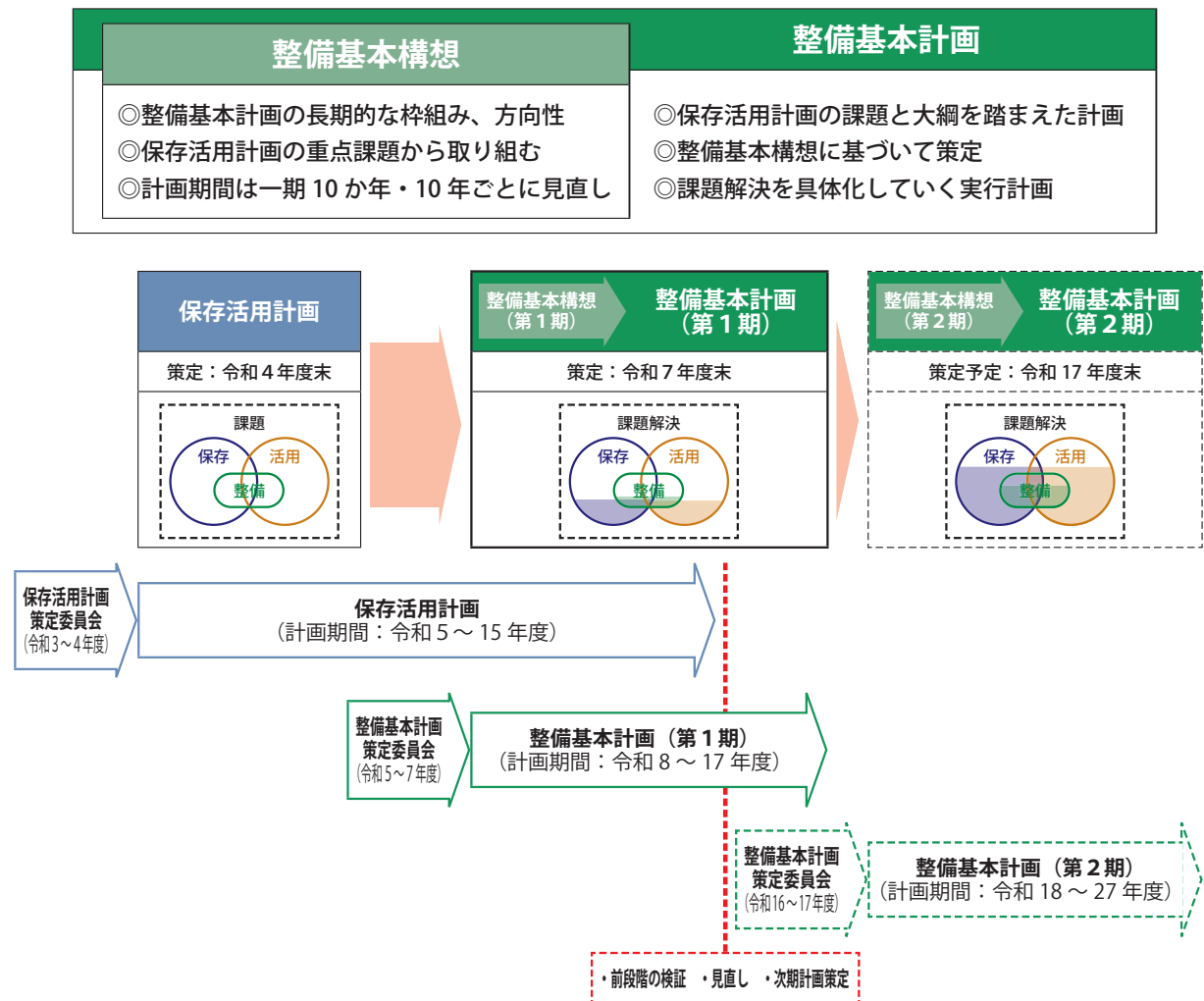


図1-4 山居倉庫整備計画の流れ